

緑豊かな三坂地小学校



本校の自慢の一つは、そこそこ町中にありながらも校庭に緑が多いことです。♪「緑の丘に抱かれて～」と、校歌にも歌われているように、学校の周りは緑が豊かですが、校庭内にも桜や杉、藤、くすのき等が校庭を取り囲み、子供達の学校生活を温かく見守ってくれているかのようです。正門横の「友情の森」では、この夏、せみとりをする子供達の姿も多く見られました。猛暑の中、この木陰は、日差しをよける憩いの場にもなっていました。

ところが、最近になって、正門横にある桜の木がピンチであることが分かりました。2本あるうちの小さい方の桜の木なのですが、幹が朽ち、穴が開いていて、もし子供が足をかけたりすると倒れてしまう恐れがあります。枝が大きく伸びていて、バランスが悪いただけに、いつ倒れるかといった状態。普段から校庭の手入れをしてくださっている主事さんが見つけてくださり、今は立ち入り禁止にしています。

何十年も三坂地っ子を見守り続けてくれた桜の木。春には、この桜の木の前で写真を撮ったりした思い出の桜の木なのですが、子供達の安全を最優先して、近いうちに伐採することになりました。今まで当たり前のように感じていた風景も、このようにお別れする時がくること、寂しい気持ちでいっぱいです。

「お疲れ様。そして、今までありがとう。」



正門横の2本の桜の木



今回立入禁止とした正門横、南側の桜



朽ちて穴があいている幹



春には満開になる藤の花



緑に囲まれた三坂地小学校



緑豊かな校庭の「友情の森」